

🔄 いるま

市議会

だより

3月定例会

44議案を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
令和2年度予算	4 P
一般質問を取り下げ	10 P
市民の声	16 P

No.190

令和2年3月
定例会号

2020年5月1日発行



第 1 回定例会

44 議案を審議

- 人事案件 1 件 ■条例 17 件 ■一般議案 6 件
- 令和元年度 補正予算 10 件 ■令和 2 年度 当初予算 9 件
- 委員会提出議案 1 件

条 例

新規 条例	議案第 10 号	入間市生産緑地地区の区域の規模に関する条例
	議案第 13 号	入間市障害者活動センター条例を廃止する条例
	議案第 15 号	入間市児童発達支援センター運営協議会条例
一 部 改 正 条 例	議案第 2 号	入間市手数料条例の一部を改正する条例
	議案第 3 号	入間市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 4 号	入間市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 5 号	市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 6 号	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 7 号	入間市印鑑条例の一部を改正する条例
	議案第 8 号	入間市市営住宅条例の一部を改正する条例
	議案第 9 号	入間市樹林等の保護及び緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 11 号	入間都市計画事業土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例
	議案第 12 号	入間市下水道条例の一部を改正する条例
	議案第 14 号	入間市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例
	議案第 16 号	入間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第 17 号	入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例
	議案第 18 号	入間市健康福祉センター条例の一部を改正する条例
委 員 会 提 出 議 案 第 1 号	入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	

※色の付いた議案は賛否が分かれた議案となります。

令和2年3月定例会（第1回定例会） 議決結果

賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党入間市議団		日本共産党入間市議団		民進党入間市議団			賛成	反対	議決結果								
		宮岡治郎	金子俊雄	平山五郎	小島清人	横田淳一	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	吉澤かつら				小出亘	佐藤匡	坂本優子	細田智也	野口哲次			
市長提出議案	14 入間市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決	
	34 令和2年度入間市一般会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決
	35 令和2年度入間市国民健康保険特別会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決
	36 令和2年度入間市後期高齢者医療特別会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名	議案等番号	議案等の件名
市長提出議案	1 入間市監査委員の選任について	市長提出議案	22 訴えの提起について
	2 入間市手数料条例の一部を改正する条例		23 訴えの提起について
	3 入間市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例		24 訴えの提起について
	4 入間市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		25 令和元年度入間市一般会計補正予算（第5号）
	5 市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例		26 令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	6 入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		27 令和元年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	7 入間市印鑑条例の一部を改正する条例		28 令和元年度入間市介護保険特別会計補正予算（第3号）
	8 入間市市営住宅条例の一部を改正する条例		29 令和元年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
	9 入間市樹林等の保護及び緑化の推進に関する条例の一部を改正する条例		30 令和元年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
	10 入間市生産緑地地区の区域の規模に関する条例		31 令和元年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
	11 入間都市計画事業土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例		32 令和元年度入間市水道事業会計補正予算（第1号）
	12 入間市下水道条例の一部を改正する条例		33 令和元年度入間市下水道事業会計補正予算（第1号）
	13 入間市障害者活動センター条例を廃止する条例		37 令和2年度入間市介護保険特別会計予算
	15 入間市児童発達支援センター運営協議会条例		38 令和2年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計予算
	16 入間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		39 令和2年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計予算
	17 入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例		40 令和2年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計予算
	18 入間市健康福祉センター条例の一部を改正する条例		41 令和2年度入間市水道事業会計予算
	19 市道路線の廃止について（市道A161号線）		42 令和2年度入間市下水道事業会計予算
	20 市道路線の廃止について（市道C1009号線）		43 令和元年度入間市一般会計補正予算（第6号）
	21 市道路線の認定について（市道C1009号線）		提出委員会 1 入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

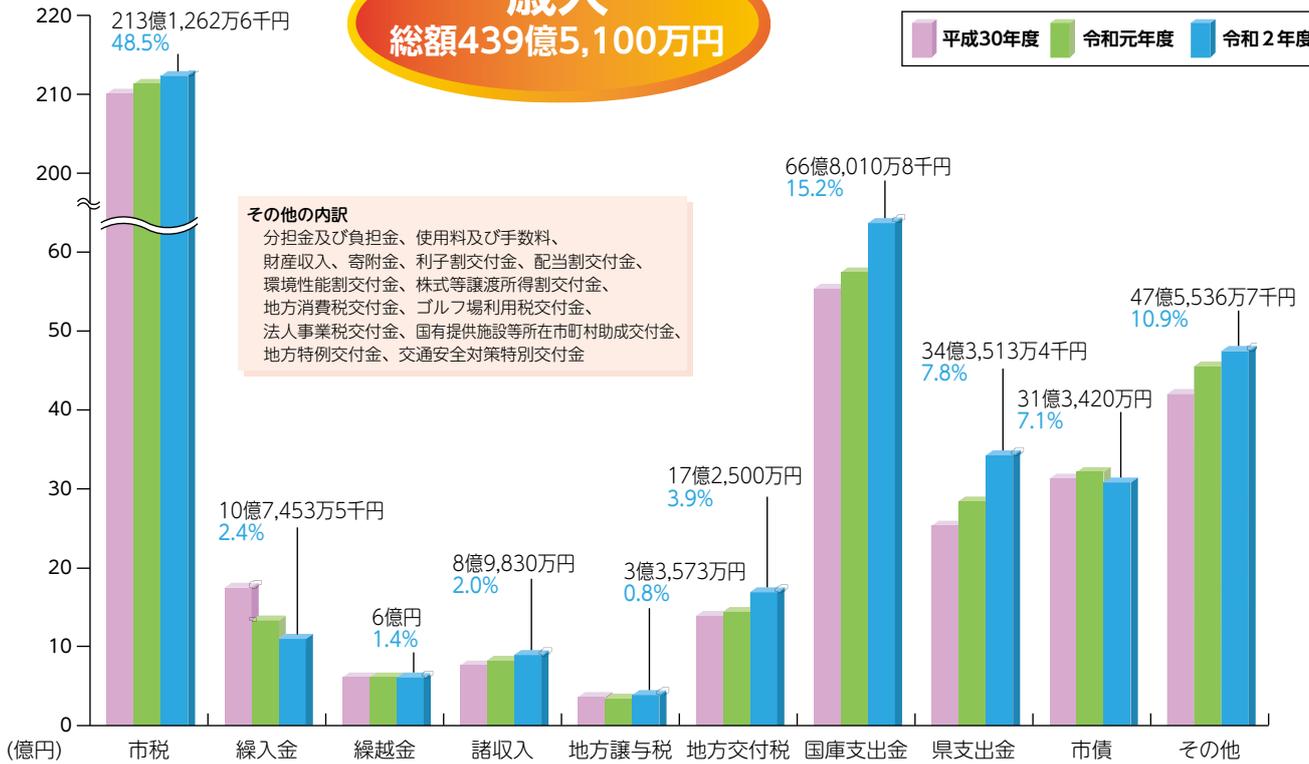
令和2年度予算の内容をチェック

自主財源250億4,954万8千円 (57.0%) 依存財源189億145万2千円 (43.0%)

市税負担額 市民1人あたり 14万4,266円
1世帯あたり 32万3,585円

歳入
総額439億5,100万円

平成30年度 令和元年度 令和2年度



令和2年度入間市特別会計予算一覧表

会計名	予算額	前年度比較増減率 (%)
国民健康保険特別会計	144億7,403万9千円	△4.9
後期高齢者医療特別会計	19億6,459万円	6.6
介護保険特別会計	112億1,970万9千円	4.9
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	2億1,150万円	33.9
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	4億8,550万円	△32.4
扇台土地区画整理事業特別会計	5億5,800万円	0.4
総額	289億1,333万8千円	△0.9

一般会計 予算

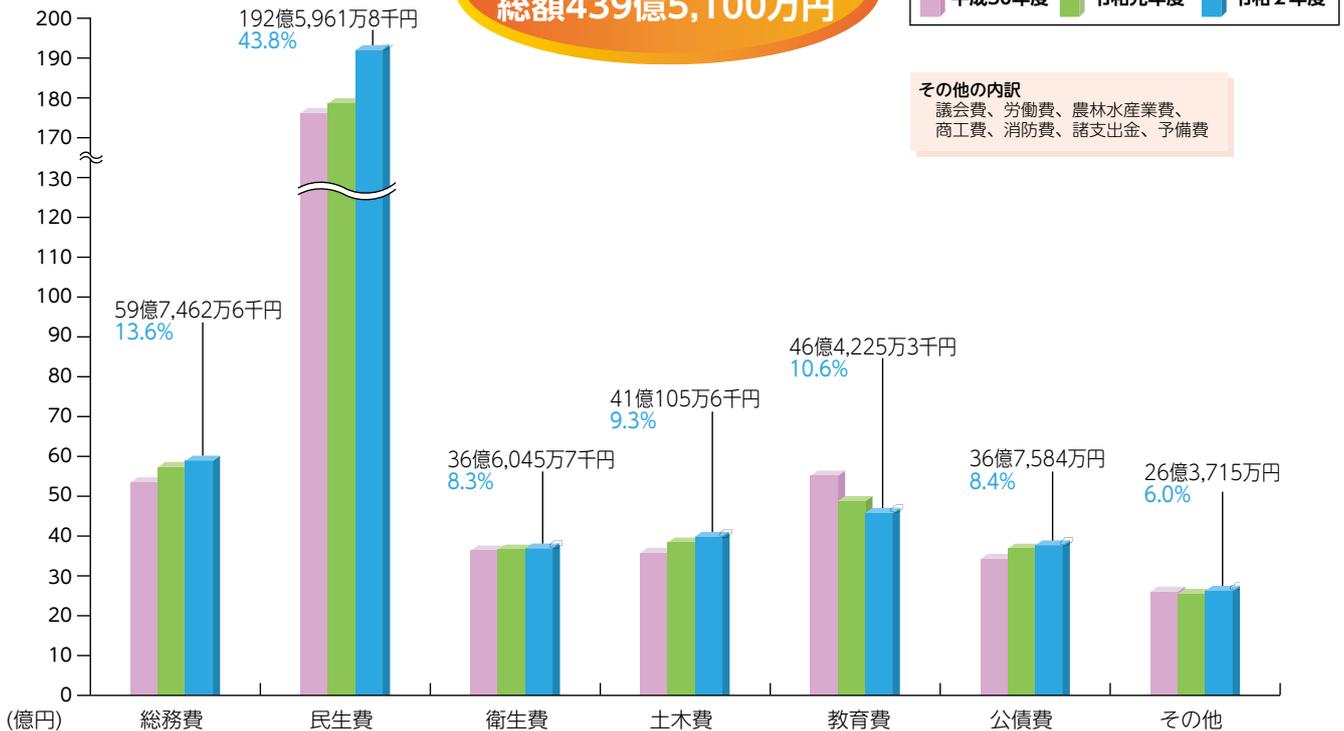
令和2年度の一般会計当初予算は、前年度対比4.3%増となり、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。

歳入において市税や各種交付金が増額となるものの、行政水準を維持し必要な施策を推進するためには、引き続き財源不足となる見込みです。このため、市債を活用し、さらに、財政調整基金からの繰り入れにより財源不足の調整を図りました。歳出では、事業の必要性、緊急性、優先性などを考慮し編成しました。

令和2年1月1日現在 人口147,731人 世帯数65,864世帯

市民1人あたり 29万7,507円
1世帯あたり 66万7,299円

歳出
総額439億5,100万円



その他の内訳
議会費、労働費、農林水産業費、
商工費、消防費、諸支出金、予備費

総務費

**産業文化センターホール等
改修事業**
3億287万6千円

事業概要(要約)
令和元年度、2年度(2020年度)
の継続事業としてホール等の改修
工事を実施。

土木費

道水路整備事業 1億6,937万7千円
不老川緊急治水対策事業 3億289万9千円

事業概要(要約)
市道幹2号線、上藤沢・林・
宮寺間新設道路(第3工区)
等の整備に伴う事業を実施。

事業概要(要約)
県との協定に基づき、橋(不
老橋・富士見橋)の架け替え
工事に伴う事業を実施。

民生費

学童保育事業 3億2,274万3千円
児童発達支援センター運営事業 7,126万9千円

事業概要(要約)
学童保育室2施設の運営、工事
などに加え、民間事業者が運営す
る1施設に対する補助を行うこと
により待機児童の解消を図る。

事業概要(要約)
心身の発達に遅れ又は障害のある
児童とその家族に、発達の段階に
応じた切れ目ない支援を行うため
のセンター設置。

教育費

**石綿含有煙突用断熱材除去
改修工事** 1億2,302万6千円

事業概要(要約)
小中学校の集中暖房機用の煙
突に使用されている石綿含有
煙突用断熱材の除去の実施。

※一般会計予算の概要より(千円以下四捨五入)

討 論

一般会計・特別会計

令和2年度一般会計・特別会計の予算について、賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を報告します。

討論の内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です)

反対

日本共産党入間市議団

一般会計討論

内閣府発表の昨年10月～12月期のGDP改定値は年率換算7.1%減で、消費税増税等で家計も経済も悪化している。市民の所得も10年前と比較すると年40万円も減少。新型肺炎などの影響も考えると、市民のくらしや市内経済を応援する施策が必要だが十分ではない。①中小企業・事業者を応援する施策の充実を②公共施設統廃合計画の見直しと、市役所等の整備についてはPFⅠ施行前提ではない議論をすべき③徴税強化ではなく、市民税減免制度の拡充こそ必要④行政改革大綱に基づく土建国保など市民団体への補助金削減の方向性はやめるべき。

賛成

自由民主党入間市議団

一般会計討論

総額439億5,100万円、前年度対比4.3%の増額で過去最大規模の当初予算である。歳出は、扶助費中心に社会保障関連経費が増額する中、必要な施設修繕等の大規模事業はしっかりと計画する等、行政水準を維持しつつ、必要な施策を適切に推進するための事業費が計上されている。年度当初に財源不足が見込まれる厳しい財政状況の中、第6次総合計画に掲げた施策を着実に推進するための予算内容であると理解する。なお、財政調整基金からの繰り入れを、令和元年度より減額し、繰入額を最小限に抑えた努力を評価し、賛成の討論とする。

賛成

公明党入間市議団

一般会計討論

公明党入間市議団の提案が実現した7点を評価。①市民税課と人事課へのAI-OCRとRPAの導入②危険な空き家対策の推進③児童発達支援センターの設立④健康福祉センターで行う人間ドックに胃がんリスク検査の追加⑤藤沢北学童保育室の藤沢北小敷地内移転に向け設計費の計上と藤沢東第2学童保育室開設⑥扇小学校の給食食器切替えて市内小学校全てがPEN食器切替え完了⑦藤の台公民館の駐車場舗装工事と東藤沢公民館のガス陶芸窯改修工事。

市職員全員が全力を挙げて市民の健康と暮らしを支えて頂くよう要望し賛成する。

賛成

民 進 の 会

一般会計討論

歳入では、市税・普通交付税等が増額となっている。歳出では、扶助費が増額している中で、不老川緊急治水対策事業を初め、市民にとっては必要度、優先度等を考慮し、事業の重点化を図った予算であるとうかがえる。厳しい財政状況にあるが、事業の継続・推進を図る一方、新規施策を展開していることは評価できる。

田中市長のリーダーシップの下、将来を見据え、必要な予算の適切な配分・各事業の計画的な施行により、今後も安定的で健全な財政運営を期待し、賛成討論とする。

賛成

市民フォーラム

一般会計討論

予算総額は前年度対比4.3%増の439億5,100万円となった。歳入では、財政調整基金からの繰り入れを前年より2億2千万円少ない9億6千万円に抑えたのは評価できる。

歳出では、継続事業が多くを占めている。厳しい財政の下、「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」の実現に向けて選択されたものと理解する。

新規事業では、児童発達支援センターの開設、入間市駅南口広場と馬頭坂線を結ぶ道路の先行整備に向けた取り組みに期待する。

多様な市民ニーズや行政課題に柔軟に対応するため、更なる選択と集中が必要。

反対

日本共産党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

制度発足の頃とは異なり、農林水産業や自営業の割合が減少し、低所得者や無職者が多くを占めるようになった。保険税も窓口負担も払えず、医療を受けることができずに手遅れで亡くなる方が後をたたない。国に抜本的な公費投入を求め、地方自治の原則に基づき一般会計からの繰入で保険税の値上げを食い止めるべきである。また、基礎限度額1,400万円の増額には反対である。

(後期高齢者医療特別会計)

国保におけるゼロ歳からの均等割と考え合わせると、ゆりかごから墓場まで不安だらけだ。

正規保険証から短期保険証にすることはやめるべきである。また、所得割増により1人2,463円の増額となる。増額には反対である。

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳入では、後期高齢者医療制度への移行等加入者減少により、保険税は前年度比0.6%の減額を見込んでいるが、財政調整基金から1億9,700万5千円を繰り入れており、国保財政の安定化を図っている。

歳出では、高齢化の進展などから一人当たりの医療費は増加しているものの、加入者の減少など前年度に比べて3.6%の減額。しかし、国保財政は依然として厳しい。

県との更なる連携を図り、医療費削減に向けた保険事業と、税負担の公平に配慮する安定的な事業展開を要望し、賛成とする。(後期高齢者医療特別会計)

歳入は、保険料の軽減措置に伴う保険基盤安定繰入金及び県広域連合の事務費繰入金が主。歳出は、県広域連合への納付金、徴収事務費用など。加入者に寄り添い歳出抑制の努力を図ることを要望し、賛成する。



賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

令和2年度の税率改定見送りと一般会計繰出金の水準維持を評価。国保税滞納世帯や納付困難世帯には丁寧な対応を望む。賦課限度額の引き上げの影響は高所得者層のみであり、応能負担の原則から財政の安定に必要な措置。給付費の抑制に向け、公明党入間市議団が提案してきた、日曜検診の再開やがん検診受診率向上等の早期の実現を求め賛成。

(後期高齢者医療特別会計)

制度開始より12年経過し、制度移行時の激変緩和策としての特例軽減の段階的廃止は理解。但し支払い困難の方には丁寧な対応を要望。自然増となる医療費の適正な抑制のため、高齢者の加齢に伴う虚弱化であるフレイルを予防し健康寿命を伸ばす対策や地域包括ケアシステムの充実の諸施策を求め賛成。

議案第14号

入間市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

超高齢社会を迎え民生費が増大していることを鑑み、敬老祝金の支給内容を改正するものです。改正内容は77歳が5,000円から祝品、88歳が1万円から5,000円、99歳が2万円から1万円となります。施行日は令和2年4月1日からです。



賛成
10名

自由民主党
入間市議団
※は除く

長年社会に貢献された高齢者に敬老の意を表し、長寿を祝福する事業は必要であると考えます。

一方で、超高齢社会を迎え、民生費が増加し続けている現在、限られた財源の中で、支給内容を見直すこともまた必要なことと

理解できるものである。

将来社会情勢などに変化が生じた場合にも、長年にわたり社会に貢献された高齢者に対し長寿をことほぐ事業は継続しつつ、よりふさわしい敬老事業のあり方について検討することを要望し、賛成とする。

賛成
4名

公明党
入間市議団

令和2年現在、高齢化率は支給当初の6倍近い約29%。支給対象者も2千800人超。高齢者への様々な福祉への出費も増大し持続可能な制度の見直しは必要。所管常任委員会で公明党議員から「敬老祝金が減額されて浮いた財源を急増する高齢者のための

予算にあてる考えはあるのか」との質疑に、担当課長から「幅広く入間市の高齢者のために活用していきたい」との答弁。丁寧な説明で、長生きして良かったと高齢者の笑顔あふれる市政運営、市民の皆様と共に進む市政運営を要望し賛成の討論とする。

反対
4名

日本共産党
入間市議団

今回の条例によりこれまで77歳時に5千円の支給が祝品に、88歳時1万円が5千円に、99歳時2万円が1万円に減額されることになる。現在高齢者の生活は、後期高齢者医療保険料や介護保険料などの社会保険料、消費税の負担増などで厳しさを増し

ている。敬老祝金は自治体自らが敬老の意を示し、長寿を祝うという優れた制度である。入間市のお年寄りにとって大きな励みとなる制度である。福祉施策としてこの施策をこれ以上後退させず現状を維持すべきとの考えから反対である。



議会人事

議長に

金子俊雄氏を選出

副議長に

紺野博哉氏を選出

定例会最終日（3月16日）に宮岡議長、松本副議長から辞職願が提出されたため、正副議長選挙を行い、新たに金子俊雄氏が議長に、紺野博哉氏が副議長に選出されました。この人事に伴い、総務常任委員会並びに2特別委員会の委員長が選出され、その他の議員等の欠員補充等がありました。

【欠員補充】

埼玉県西部消防組合議会議員
宮岡 治郎

埼玉県都市競艇組合議会議員
金子 俊雄

議会運営委員会
松本 義明

公共施設最適化検討特別委員会
◎ 永澤 美恵子（委員長交代）
宮岡 治郎

【委員長及び委員交代】

総務常任委員会
◎ 平山 五郎

基地対策特別委員会
◎ 横田 淳一

議会広報委員会
議会図書室運営委員会
宮岡 治郎

議会防災検討委員会
◎ 松本 義明

◎は委員長

就任のあいさつ



議長
金子俊雄



副議長
紺野博哉



3月定例会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。市民の皆様への負託に応えられるよう、公正で公平な議会運営に努めてまいります。市議会は市民生活と直結し、切り離しては成立しないと考えています。そのために、市民の暮らしに柔軟に対応できる市議会とするため、直面する行政課題に積極的に取り組んでまいります。市民の皆様により信頼される市議会を目指してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

一般質問の取り下げについて

3月定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策にあたる市職員が職務に専念できるよう配慮し、質問予定者全員（15名）が一般質問通告を取り下げました。

このことに対する特例措置として、8名の議員は、3月定例会での質問を要する内容についてのみ文書による質問を行いましたので、質問と回答の内容を12ページから掲載します。

※質問・回答内容は質問者本人が要約したものです。

文書による質問を行わなかった一般質問予定者（7名）の通告内容を掲載します

内村 忠久 議員

公共施設マネジメント

(仮称) 地区センター整備計画について

- 1 地区センター整備計画の検討状況
- (1) 地区センター整備に向けた検討状況
- (2) 計画の策定時期
- (3) 市民意見の反映について
- 2 地区センターへの移行について
- (1) 地区センターへの移行時期
- (2) 地区センターの組織体制
- (3) 地区センターの役割
- (4) 地区センターの機能に関わる具体的な事務内容
- 3 地区センターの施設利用と市民参画について

まちづくり行政

入間市自転車活用推進計画の策定について

- 1 自転車活用推進計画の必要性
- 2 計画策定にかかる組織体制
- 3 自転車活用推進都市に向けた見解

防災行政

台風19号対応についての総括

- 1 台風19号対応における避難所運営
- 2 地域防災計画における震災以外の災害に対する見直し



野口 哲次 議員

公共施設マネジメント

1 市民会館・中央公民館の閉鎖について

- (1) 2021年4月からなのか
- (2) 代替施設や利用方法の見直し等の検討は
- 2 公共施設マネジメントの目的と決意
- 3 市役所・市民会館整備について
- (1) 市民会館耐震改修が「更新に近い」場合とは
- (2) 「更新に近い」場合の比較検討の選択肢に「複合化案」を
- (3) 市役所整備の「直営方式」「PFI方式」選択は市民会館整備方法の確定後にすべき
- 4 小中学校統廃合について
- (1) 西武地区中学校

野田中学校への統廃合という財政的メリットをとらない理由があるのか

(2) 宮寺・二本木地区、豊岡第三地区小学校
財政および敷地、建物床面積から現小学校への統合も選択肢として復活させるべき

① 狭小小、黒須小の校舎は60年ですべて建替えをしないといけないのか

② 場所選定の問題点

・宮寺・二本木地区 農振除外までして学校を建てるのか
・豊岡第三地区小学校 予定されている調整区域に中間地点としてメリットがあるのか

③ 建物床面積決定における統合時の児童数の見込みは

5 地区センターについて

福祉総合相談窓口機能の付加を見直しては



坂本 優子 議員

子ども・若者施策

すべての子ども・若者に向けた今後の取組みについて

- 1) 子ども・若者未来応援プランについて
- ① これまでの計画との違いは
- ② 計画の構成は
- ③ 事業の内容は
- ④ 市民への周知は
- 2) 子ども・若者未来応援プランの目指すものは

災害対策

令和元年台風第19号から学ぶ風水害の備えについて

- 1) 避難に関する課題
- 2) 適切な避難に向けた対策を
- 3) 避難に対する市民の備えについて



長谷川 渉 議員

自治体間交流

公民館における姉妹館交流の発展の可能性について

- ① 市内公民館の姉妹館交流の状況
- ② 金子公民館の姉妹館交流の経緯
- ③ 金子公民館の姉妹館交流の現状
- ④ 金子公民館の姉妹館交流の今後
- ⑤ 都市間交流への発展の可能性

道路行政

1. 道路補修計画について

- ① 市道の舗装補修状況
- ② 補修基準
- ③ 令和2年度の市道補修予定
2. 市道の道路標示について
- ① 停止線等の再整備計画
- ② 停止線等の位置の確定方法

まちづくり行政

三ヶ島工業団地周辺土地区画整理事業について

- ① 事業内容と現在の進捗状況
- ② 所沢市が主催した入間市の自治会への説明会の内容
- ③ 今後のスケジュール



小島 清人 議員

保育行政

保育所等における安全管理

1. 保育所等における園外活動時の安全管理
(1) 市内の保育所等における安全管理の現状について

①昨年度より改善できたものは

②児童への安全指導は

③職員向けの研修は

(2) 国の補助金を活用し、「キッズゾーン」や「キッズガード」を

2. 災害時等の保育所等運営

- (1) 自然災害時の保育所等運営の現状について
- (2) 感染症発生時の保育所等運営の現状について
- (3) 児童・職員の安全確保について

(4) 「災害時指定保育所」を定めて、災害時の安全な保育運営を

まちづくり行政

入間市駅北口周辺のまちづくり

1. 霞橋の架け替えについて

(1) 架け替え事業の概要

(2) 現在の進捗状況

(3) 今後のスケジュール

2. 国道16号南側の整備について

(1) 整備における課題

(2) 事業進捗に向けた方針

3. 住民への情報提供を

水道行政

経営基盤の強化による安定した水道事業の継続を

1. 水道法改正による入間市水道事業への影響について

2. 入間市の水道事業の現状と今後について



細田 智也 議員

健康行政

入間市自殺対策計画について

1. 入間市自殺対策計画の概要

2. 策定後の取り組み

(1) 具体的な取り組み内容

(2) 重点施策に対する取り組み

(3) 児童生徒に対する取り組み

3. 計画に基づく今後の取り組みと課題

一般行政

成年年齢の引き下げに伴う消費者教育の充実・強化について

1. 若年者の消費生活相談の現状

(1) 消費生活センターにおける相談体制

(2) 若年者の相談件数の推移と相談内容

2. 成年年齢の引き下げに伴う課題

(1) 消費者被害の若年化

(2) 相談窓口の周知

(3) 消費者教育の必要性

3. 消費者教育の充実・強化に向けた今後の取り組みについて

(1) 地域における消費者教育

(2) 学校における消費者教育

福祉行政

買い物弱者への支援・対策

1. 当市の高齢化率と独居世帯率の推移

2. 高齢者の買い物支援の現状

3. 今後の支援対策の取り組み

4. 買い物弱者の実態把握を

医療行政

医療用ウィッグの助成制度について

1. 自治体での支援状況

2. 政府の「がん対策推進基本計画」に基づいた医療用ウィッグ

等への助成制度の現状

3. 助成制度導入の検討を



古仲 リカ 議員

環境行政

廃棄物処理について

(1) ごみ処理量と処理にかかる経費は

(2) ごみの処理方法は

(3) ごみ収集の方法は

(4) 先端技術を活用したごみ処理の研究・検討を

教育行政

小・中学校の学用品について

(1) 販売店の周知方法は

(2) 市公式HPへの掲載を





教員の働き方・下河原 防犯灯設置

小出 亘 議員

質問 問題になっている教員の長時間労働の入間での状況は。

教育長 授業日数の多い月は残業45時間を超え、6月には過労死ラインの80時間を14%の職員が超えている。今年度全体平均で約8%が月80時間を超えている。

質問 長時間労働是正の必要性への見解は。

教育長 是正の必要性は認識している。教育委員会では、教育委員会主催の研修会の精選、文書や調査の精選、校務用パソコンの最新化など長時間労働是正のために取り組んでいる。

質問 仏子下河原第2公園近辺の防犯灯不足部分に防犯灯の設置を。

市民生活部長 確認したところ、防犯灯

の間隔が若干広がっている。区長・自治会長から申請していただきたい。

質問 入間川河川敷遊歩道改修見込みは。
都市整備部長 護岸の復旧工事の完了時期や遊歩道の復旧方法等、飯能県土整備事務所と協議が必要だが、時期の見込みは立っていない。

質問 飯能信用金庫仏子支店前の市道がわだち掘れやひび割れがひどい。改善を。

都市整備部長 平成27年度に工事をやったが、必要な箇所は予算内で対応する。



飯能信用金庫仏子支店前の波打っている市道



地域からジェンダー 平等の実現を

吉澤 かつら 議員

質問 選択的夫婦別姓に対する見解は。

市長 選択的夫婦別姓について必要性は感じている。国での早急かつ丁寧な検討を進めてほしい。動向を見守っていきたい。

質問 災害避難所における性暴力の被害に対する認識と、避難所の運営時の配慮や啓発活動などの防止策を求めるが見解は。

市長 阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震で被害が発生したとの報告がある。避難所運営マニュアルの内容を見直す際に、加害者を発生させない環境づくりについて記載することを検討していく。

質問 孤立ししやすい、ひとり親家庭への相談支援の拡充を求めるが見解は。

市長 情報を掲載した「親と子のしおり」を新たに作成し、窓口等で配布する。相談

窓口を市民にわかりやすく周知していく。

質問 生活保護制度の周知のため、制度を市報に掲載すべきと考えるが見解は。

市長 紙面では十分な説明が困難で、制度に対する誤解などが生じることから、市報に掲載することは考えていない。

質問 鍵山三丁目地内排水ポンプに、非常電源の設置を求めるが見解は。

都市整備部長 設置のための概算費用は約3,200万円で、用地の確保も必要となる。ポンプ更新を視野に入れ研究していく。



昨年の台風19号被災翌日の入間川・秋津川合流地点の様子



狭山茶農業遺産、再挑戦に向けて

末次 正 議員

- **質問** UDフォントを行政文書の標準形式とすべきでは。見解を問う。
総務部長 「文書事務の手引き」を改訂し、全庁的に採用するよう推進する。
- **質問** 保護者への配布物、児童・生徒へのプリント教材もUDフォントは有効では。
教育長 UDフォントは誰でも分かり易いと認識。採用を校長会議等で働きかける。
- **質問** 狭山茶の日本農業遺産認定にかかる費用対効果はどのように評価するか。
環境経済部長 調査費用の内102万3千円を市が負担。ブランド力向上、販売促進、地域の一体感醸成、狭山茶振興に寄与する。
- **質問** 登録再挑戦に向けて市長の決意は。
市長 狭山茶農業遺産推進協議会の11市町が結束し、登録に向けて全力を尽くす。

質問 公マネ事業計画で、金子地区の保育所移転先について、金子小東側以外にも候補地を検討するに至った経緯は。

総務部長 低年齢児受け入れ、周辺道路事情、学習環境への影響を考慮し、新たな検討課題として、計画に位置付けた。

質問 地域への説明責任はどのように。

総務部長 必要に応じて説明する。

質問 事業計画の精度向上を図るべき。

総務部長 社会情勢の変化に柔軟に対応し、5年、10年ごとの見直しも想定し対応。



日本農業遺産登録を目指す金子台の茶畑



給食の直営守れ・リフォーム助成

安道 佳子 議員

- **質問** 民間委託やPFIで給食を守れるか。学校給食センター整備基本構想(案)では、令和2年度にPFI可能性調査実施、整備基本計画策定とある。市民意見の反映は。
- **教育長** 基本構想は施設の在り方の基本と方向性を示すもので、パブリックコメントを実施する予定はない。
- **質問** 入間市の学校給食の特徴は。
教育長 加工調理済み食品を使用せず手作りが基本。地場産物を使用。行事食の献立。センターと自校給食の連携もある。
- **質問** 民間委託やPFI事業の問題は。
教育長 整備手法や運営方式等のメリット・デメリットを検討。教育面や財政面等から最適な方法を選択することが大切。
- **質問** 住宅リフォーム助成制度で地元建

設業者応援を。地元建設業者の現状は。

市長 人手不足で売上が伸びない。材料費高騰。オリンピック後の冷え込みを懸念。

質問 住宅リフォーム助成制度の事例は。

市長 県内大多数の自治体で実施。平成30年度狭山市の実績は店舗5件補助金額114万円工事総額907万円。住宅75件補助金額484万円工事総額1億2675万円。飯能市は149件で補助額888万円工事総額2億711万円等。

質問 入間でも制度の復活で業者支援を。

市長 移住・定住等効果的な施策が使途。



入間市学校給食センター



誰一人取り残さない SDGsの推進を

向口 文恵 議員

質問 SDGs(持続可能な開発目標)とは貧困や教育、エネルギー、気候変動など17の目標と169の指標を有する2030年までに達成する世界共通の目標。各自自治体の動きも進むなか、当市も地域課題の解決、地方創生の原動力としてSDGs達成に向け動き出すべき。①入間市の取り組み姿勢は。②総合計画・各種計画等へSDGsの要素の反映を。③諸施策へ該当する17のゴールの表示を。④他の模範となる「SDGs未来都市」へ挑戦を。⑤「体験型カードゲーム」の実施で意識啓発を。⑥中小企業・諸団体との官民連携を。

市長 ①推進体制を検討し地方創生を絡めた推進を図る。②令和2年度から着手する後期基本計画では取り組みを明確化。各種施策の紐づけ、SDGsの理念の反映を検討

する。③広報紙への特集記事の掲載を含め様々な手法を検討する。④将来は地方創生支援事業補助金の活用が可能なモデル事業の構築を目指す。⑤理解に役立つものとして庁内の研修で実施を検討。⑥連携による取り組みは必要。先進事例を研究していく。

質問 持続可能な社会の創り手の育成を目指して改訂された学習指導要領を受け、教育現場でのSDGs達成への取り組みは。

教育長 横断的な学習を進め地球規模で考え地域で行動できる児童生徒を育成する。



世界を変えるための17の目標
(国連広報センターより)

市長 避難先でのトラブル回避のために市防災訓練時に獣医師による講演を実施。引き続き、周知啓発に取り組む。

質問 環境省はガイドラインを策定し、地域ごとのマニュアルの作成を促している。飼い主へは避難所の案内、しつけ・避難所に向かう時の注意事項の徹底、運営側には知識と理解を促進するために「ペット同行避難マニュアル」を策定し周知すべきでは。

市長 県の運営マニュアルを参考に、作成に向け、作業を進めていく。



災害時のペット同行 避難について

永澤 美恵子 議員

質問 昨年の台風19号における避難者のうち、ペットとともに避難された方に対する避難所の対応状況は。

市長 周知不足や訓練・経験不足から混乱を招いた。

質問 アレルギーを持つ方等との間に一定のスペースを確保することは重要。全ての避難所でのペット受け入れの可能性は。

市長 具体的な受け入れ場所を決める予定で進める。

質問 大型犬等の受け入れ施設を市内に1~2か所設定すべきでは。

市長 他市の事例を研究していく。

質問 ペット同行避難の為には、飼い主のマナーやしつけが重要。意識向上に取り組むべきでは。



安易な補助金再開に 疑問

金澤 秀信 議員

- **質問** 平成 11 年設立の入間市勤労者福祉サービスセンターは毎年の赤字約 1 千 500 万円の解消ができず 1 億円あった資金が底をつく事態に。市はセンター救済の為に令和 3 年度から市の補助金 800 万円を再開させる実施計画を策定したが安易な救済案に納得できない。事務責任者は代々市の幹部 OB 職員の指定席。経営責任を問われる理事長が田中市長であり補助金を支払う側と受け取る側のトップが同一人物であることへの問題意識と経営責任への認識は。
- **市長** 責任を痛感し見直しを重ねてきた。授受同人は好ましくなく理事長交代も検討するが改革の道筋をつける責任がある。
- **質問** 建武橋架換え工事による通行止め渋滞対策として私が要請していた藤沢交差

点国道 463 号側の青信号時間の 4 秒間延長に続き、規制開始後に国道 463 号東藤沢の寺清ガソリンスタンド交差点の市道側青信号を 10 秒間延長して頂いたが、いまだに渋滞が解消されない。今後の渋滞解消策は。

市長 信号機調整の追加を警察へ要望。

【その他の質問】 保育所に子どもの安全確保や保育士の負担軽減の為に省力化・情報共有が期待されるスマホやタブレット、各種センサーなどを活用した情報通信技術の導入を。



建武橋工事の影響により渋滞が続く東藤沢地区内の市道



官民連携手法の中間 報告について

佐藤 匡 議員

- **質問** 官民連携手法導入の市民への説明が必要ではないか。
- **市長** 令和 2 年 3 月には、市役所整備における PFI 導入可能性調査（官民連携調査）の最終報告が、委託業者から提出される予定。これを受け、市としての方向性が固まった時点で、市議会への報告とともに市民の皆様に対しても説明すべきと考えている。
- **質問** PFI におけるリスク算定について伺う。PFI においてはリスク算定が肝であるとされている。
- **市長** 現在は、最終報告に向けて、官民双方の項目別のリスク分担について詳細な検討を行っており、その結果が報告される予定である。より具体的なリスク項目については、今後の契約の中で調査し、公募の

段階までに決定して行くこととなる。昨年 3 月に単独整備の方針が決まり、方向性は変わったが、あらためて財政負担が少なく、かつ効果的な事業とするためには、官民連携手法について調査が必要であると判断した。

質問 ヤオコー入間下藤沢店横、市道 F 248 号線の歩道の設置を求める。

市長 多額の費用を要することから、市他の施設等と併せて検討して行きたいと考えている。



入間市役所本庁舎



入間市インタビュー 市民の声

interview 1

地域の子供会

小谷田
横尾 里絵 (パート)

最近、テレビでは新型コロナウイルスの話題ばかり目にします。

感染拡大防止の対応として、小中高校の臨時休校、各イベントの中止、児童の公共施設の利用禁止など挙げられています。

我が家には、小中学校の子供がいますが、共働きの為毎日自宅で留守番生活を送っております。

家の中では、子供達がゲーム・スマホ・動画などやりたい放題で、学校に通っている時のような規則正しさはなく、毎日何となく過ごしている様子です。

親として、仕事の休日に少しでも外遊びをさせてあげたいと考えていた矢先、「休校中の外遊びは趣旨に反するのでは」というニュースを目にしました。

学校に行けず、友達とも遊べない、そんな子供達の発散場所がない事にいきどおりを感じます。

interview 2



僕と入間市

久保稲荷
竹村 慶俊 (中学生)

僕が入間市に住んでいて良いと思ったところは特産品がお茶だということです。

なぜなら、小学校、中学校でお茶を学ぶ機会がとても多く、お茶の作り方や歴史、アリット見学、盆手前などと充実した内容を学べたからです。また、狭山茶コーラなどの商品があることで、お茶にもっと興味を持つことが出来ました。

しかし、そんなお茶畑が広がる入間市ですが、ポイ捨てが多いところは改善して欲しいです。道路を歩いていて、一度はゴミを見ます。ポイ捨てについて市民全体で見直し、地域をきれいにしていく活動をしていくべきだと思います。

最後に、入間市の良いところとして、お茶をあげましたが、他にもたくさんの魅力があります。これからも、入間市に貢献できるように頑張っていきたいと思いました。



いるま市議会だより No.190

表紙 / 霞川桜堤
撮影 / 市民カメラマン
松浦利勝さん
編集 / 議会広報委員会

◎向口 文恵 ○古仲 リカ
小出 亘 長谷川 渉
内村 忠久 細田 智也
小島 清人 野口 哲次
宮岡 治郎

発行 / 入間市議会
インターネットアドレス
<http://www.city.irma.jp>
<http://www.city.irma.jp/gikai/>

6月定例会日程案

- 6月 5日 (金) 開会
- 6月 11日 (木) 総括質疑
- 6月 12日 (金) 総務常任委員会
- 6月 15日 (月) 都市経済常任委員会
- 6月 16日 (火) 福祉教育常任委員会
- 6月 18日 (木) 一般質問
- 6月 19日 (金) 一般質問
- 6月 22日 (月) 一般質問
- 6月 26日 (金) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。



問い合わせ 〒 358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目 16 番 1 号 (04)2964-1111 (議会事務局 内線 5112・5113・5114)